町のわだい

今月の題字　芳賀　柚月（ゆづき）さん（豊間根小２年）

大漁旗や横断幕で歓迎
岩手県「復興の火」を披露

２月22日、23日に、岩手県「復興の火」が行われました。このイベントは、東京2020オリンピック聖火リレーに先立ち開催されたもので、20日に全線運行を再開した三陸鉄道とSL銀河で運びながら、県内８ヵ所で展示。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小して開催となったものの、22日には、雨が降る中にもかかわらず、陸中山田駅に多くの人が集まりました。「復興の火」を乗せた列車が見えると大漁旗や横断幕で歓迎。「復興の火」が列車から降ろされ披露されると、訪れた人々は、記念撮影などをして間近で見学をしていました。

食べることが元気の源
豊間根の佐々木さん100歳に

３月16日、豊間根地区の佐々木カネさんが100歳を迎えられました。宮古市長沢に８人きょうだいの５番目として生まれた佐々木さん。結婚後は旦那さんと農業に勤しみ、５人の子宝に恵まれました。84歳までゲートボールの選手として活躍し、県内外の大会へ参加するなど励んでいました。10年前に本紙へ掲載させていただいた際には「娘さんの作るロールケーキが大好物で、食べることが元気の源」と話されていました。現在は、町内の老人保健施設に入所し、大好きな食事を楽しんでいます。佐々木カネさん、100歳おめでとうございます。

言葉の力が背中を押す
ペップトークについて講演

２月24日、町中央公民館で「人づくり・町づくり町民の集い特別講演会」が行われました。今年は、実業団や全日本のバレーボールチームのトレーナーとして、選手を支えてきた岩崎由純（よしずみ）さんによる講演が行われ、ペップトークの素晴らしさを参加者に伝えました。ペップトークとは、試合前の激励のショートスピーチとしてよく使われる言葉のことで、短く、分かりやすく、肯定的な言葉遣いが特徴です。家庭や学校現場における使用例を交えながら『応援したい人のやる気』を引き出す言葉遣いを紹介。参加者は、言葉の持つ力の凄さを実感していました。